
傷

美傷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

傷

【Zマーク】

Z9343C

【作者名】

美傷

【あらすじ】

詩というよりも歌の歌詞をイメージして作りました。評判が良ければ、この詩を題材とした小説を書きたいと思います。

限りなく続くこの道
涙があふれてきた

束縛する繩

僕はただ立ちすくむ

もう傷つきたくない

忘れられないこの腕の傷
消せない傷跡を見つめるだけ
今でも虐待が僕を縛り付ける

汚れなく澄み切った川のような心
砂嵐で焼き消された思い
思い出せない記憶

バラバラに散らばる心

目の前にある幻惑の景色

否定と矛盾

鳥籠から抜け出せられない

偽善の優しさ

灰になつた真実

空は螺旋を描いた

とまどいの涙

君だけは離れていかないで
消えて無くなる私の心
無限に広がる空を見つめて

いつも繰り返してばかりの太陽

虚像の青空

闇をひた隠す

嘘が世界を包み込む

「同情してもらいたけじやないのか？」

「腕を切つたぐらいじゃ死ねない」

大人の言葉に怯える僕が居る

生きてることを確かめて・・・

それだけがアイデンティティ

「同情を求めるわけじやない」

「切るとホツとするの」

「生きてる実感が得られる」

「生きてることに未練なんか無い」

「忘れないというよりも消えたいから」

「みんなの記憶から消え去りたい」

そんな叫びもこの世界では虚しく響く

袖の下には心の傷が無数と・・・

闇だけが動けぬ僕を救う

空がいつもと違う

この夜は絶望を無くす

眩暈から目覚めた僕は・・・

傷に溶け込む悲しみ

腕に刻まれた闇は全てを覆いつくす

誰も愛すことができないから

失つたものが大きすぎて

テレビの世界を閉ざした僕は再びナイフを手に取った
手首の傷跡がまた一つ・・・
全ての苦しみを引き受けて

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9343c/>

傷

2010年11月9日14時20分発行